広報
あかし

No. 1115
平成24年(2012年) 4月15日

発行／明石市役所 ☎912-1111
〒673-8686　明石市中崎1丁目5番1号
編集／政策部広報課
（☎918-5001　FAX918-5101）

市政へのご意見・ご要望は
市民相談課　(☎918-5050)
市役所開庁日／午前8時55分～午後5時40分

主な記事

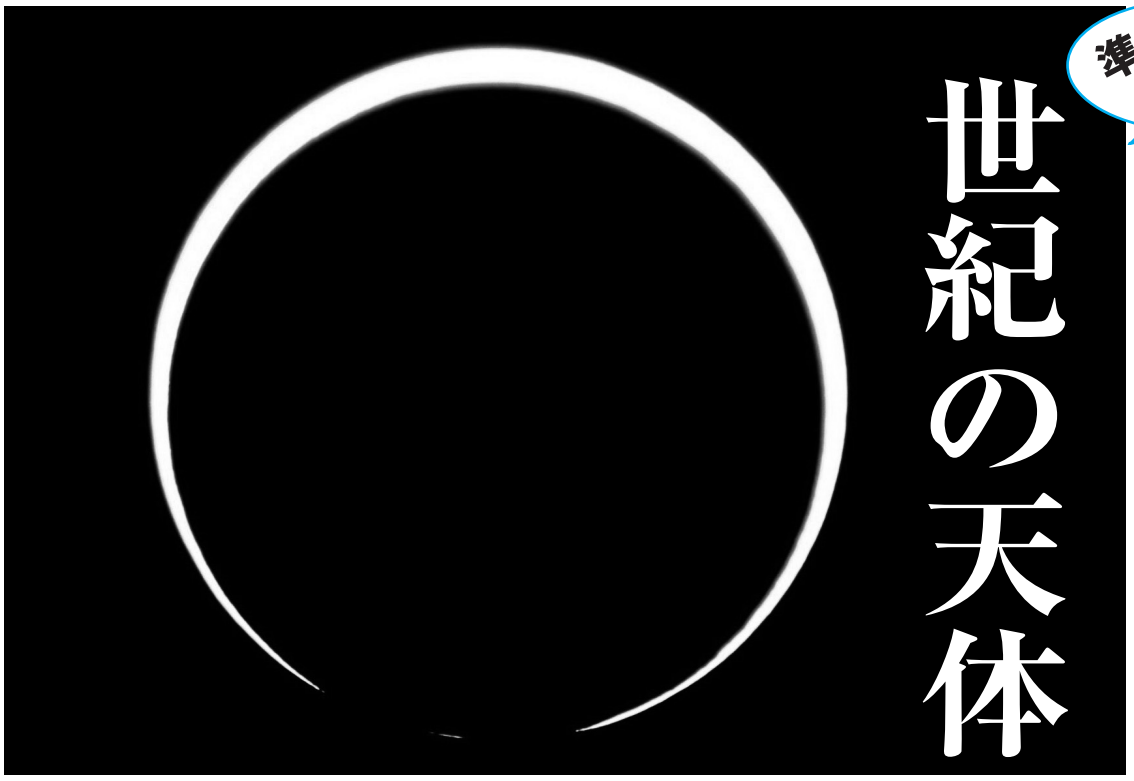
市民生活に影響が出ないようしっかり取り組みます　2面
5月1日号から「広報あかし」をリニューアル　3面
平成24年度～26年度分の高齢者介護保険料決定　4面

市の人口

市域 49.25㎢

合　計	290,493人	(△350)
男　性	140,931人	(△132)
女　性	149,562人	(△218)
世帯数	118,168世帯	(＋131)

平成24年(2012年)4月1日現在
(　)内は前月比



1987年に沖縄県で観測された金環日食（秋田勲さん撮影）

世紀の天体ショーを見逃すな！

準備はOK？

5月21日 金環日食

明石で282年ぶりに観測

金環日食は、太陽と月・地球が一直線上に並んだときに、月に隠された太陽が指輪のような形に見える現象です。市内で金環日食が観測できるのは282年ぶりのこと！

また、明石は金環日食が見られる場所と部分日食が見られる場所のちょうど境目に当たり、天気が良ければ、市内全域で美しいリング状の太陽を見ることができます。

ただ、太陽を観察するのは危険も伴います。日食メガネを用意するなど、安全な観察方法などを知ることが大切です。準備を万端にして当日を迎えましょう。

お問い合わせ／天文科学館（☎919-5000）

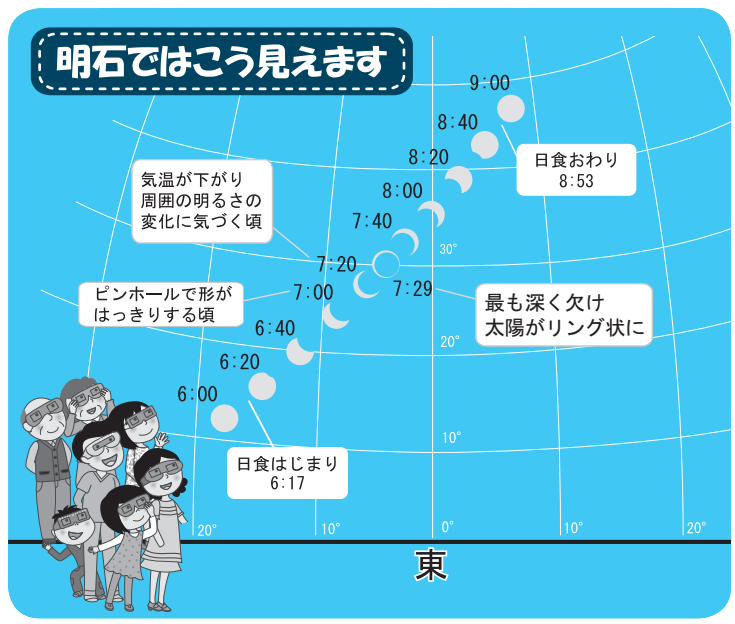
食の最大　午前7時29分

天文科学館で事前に知識を手に入れよう！

■プラネタリウム番組
「～明石で282年ぶり～金環日食を見よう」5月20日（日）まで
金環日食の安全な観測方法や見え方などをお話します。
※5月20日(日)は開館時間を午後6時まで延長して午後5時から5時50分に6回目を投影。
※土･日･祝日の2回目の投影は、キッズプラネタリウムになります。ご注意ください。

■日食写真展　7月8日（日）まで
日食のしくみの紹介パネルと日食の写真を展示

■出前講座
「2012年5月21日、金環日食がやってくる!」
職員が会場へ出向き講座を行う「出前講座」で、金環日食について観察方法や見どころをわかりやすく紹介します。詳しくはお問い合わせください。



安全な観測方法

1 日食メガネ
さまざまな場所で市販されています。また、天文科学館でも販売しています。取扱説明書をよく読んで、正しく使いましょう。

日食メガネを使っても太陽をあまり長く見ないようにしましょう

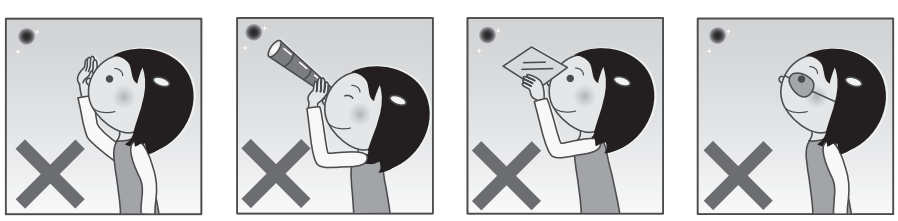
2 ピンホール
小さな穴（ピンホール）を通った太陽の光を地面や壁面に移すと日食の形を見ることができます。今回の日食では太陽高度（太陽の高さ）が30度程度と低いため、地面よりも壁面に映した方が観察しやすいでしょう。投影盤として白い紙などを用意すると、よりくっきりします。

3 木漏れ日を観察する
葉っぱを通った光で日食が観察できます。前日までに、場所を探しておきましょう。

絶対にやってはいけないこと

肉眼で直接太陽を見たり、望遠鏡で観察したりするのはもちろんやってはいけません。また、黒い下敷きを使ったりサングラスやゴーグルで観察したりするのも絶対にやめましょう。

観察しながら道を歩かない
今回の金環日食が観察できるのは、通勤・通学時間帯にあたります。道路などで観察しながら登校したり、観察しながら車の運転をすることは絶対にやめましょう。



×肉眼で直接太陽を見る　×望遠鏡で観察する　×黒い下敷きやCDで観察する　×サングラスやゴーグルで観察する